

デンソーテングループの CSR

デンソーテングループは、「『誠』の精神こそが CSR 活動の源泉であり、CSR 活動は企業理念に基づく事業活動そのもの」との考えのもと、さまざまな活動を通じてステークホルダーの皆様から信頼される企業をめざしています。

CSR 重点課題の特定

2016 年には、よりステークホルダーの期待や要請に沿ったデンソーらしい活動を進めていくため、優先的に取り組むべき重点課題(マテリアリティ)を特定しました。

また、グループとしての一体的な CSR 活動をどのように進めていくべきか、方向性を議論する場として 2017 年 1 月からコーポレート部門の関係者による「CSR 座談会」を、2017 年 7 月からはコーポレート担当役員を交えた「コーポレート CSR 会議」を、それぞれ定期的で開催しています。

デンソーテングループの CSR 重点課題



重点課題特定のプロセス

STEP1 活動の現状把握 (2014 年度)

ステークホルダーに対する当社の責任と対話の機会を整理するとともに、ISO26000 を活用した当社 CSR 活動の現状把握を実施しました。

STEP2 社会的課題の抽出

ISO26000、GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版(G4)」、他社ベンチマークの結果から、当社が取り組むべき社会的課題を抽出しました。

STEP3 優先順位の検討

抽出した社会的課題について、関係部門にヒアリングを行い、「ステークホルダーにとっての重要度」「当社にとっての重要度」の2つの軸からマッピングを行いました。

STEP4 重点課題の特定

マッピング結果について、さらにコーポレート担当役員を交えた評価・絞り込みを行って重点課題を特定し、経営トップである社長の承認を得ました。

重点課題のマッピング結果



2017 年度の取り組み

2015年に国連で採択された、2030年をゴールとする「持続可能な開発目標(SDGs)」達成のために、当社が事業を通じてどのように貢献できるか、検討を開始。2017年度は現在の当社のCSR活動とSDGsとの関連づけを行いました。



また、CSRに対する従業員の意識を把握するため、2018年2月にデンソーテン本社従業員を対象にアンケート調査(CSRサーベイ)を実施しました。

その結果、安全衛生・環境などの個別分野の活動はしっかりできているものの、CSR方針や企業行動指針に対する理解・浸透が進んでいないことがわかりました。

今後は、SDGsの各目標について、当社が事業を通じてどのように貢献できるか、重点的に取り組む課題を明確にするとともに、従業員に対する啓発活動を通じてCSRの浸透を図っていきます。

2017 年度の主な活動と関連する SDGs

重点課題	2017年度の主な取り組み・成果	関連するSDGs	関連ページ	
消費者課題	お客様データの保護	●「個人情報保護方針」に基づく規定の整備・従業員への周知徹底(継続)	12 持続可能な消費	P.17
	お客様満足度の向上	●本社とデンソーテンマニュファクチャリング 中津川工場が、新しい品質マネジメントシステム規格「IATF16949」の認証を取得 ●全従業員がQCサークル活動(小集団活動)を実施(継続)		P.18-19
環境	製品による環境への貢献	●「地球環境憲章」と「環境中長期 VISION」を統合し、「デンソーテングループエコビジョン」として制定 ●マルチアングルビジョン用 ECU をスーパーグリーン製品に認定	6 清潔な水と衛生 7 再生可能エネルギー 12 持続可能な消費 13 気候変動 14 海洋汚染 15 陸域生態系	P.20-21 P.28
人権	人権の尊重 (デューデリジエンス)	●新入社員の入社時教育や昇級時の階層別研修において、人権関連のプログラムを実施(継続) ●管理職を対象に「障がい者とともに働く職場づくり」をテーマに講演会を開催	8 公正な労働と経済的繁栄	P.40
労働慣行	人材の多様性 (ダイバーシティ)	●各階層を対象としたダイバーシティの重要性に関する研修、ダイバーシティに関する意識調査、イントラネットを通じた情報発信を実施 ●仕事と家庭の両立への不安を解消し、将来のキャリアを考えるきっかけを提供するため、女性の若手社員と先輩社員との座談会を開催(継続)	5 ジェンダー平等 8 公正な労働と経済的繁栄 10 削減	P.40 P.42
	ワークライフバランス	●仕事と介護の両立が必要となる従業員の増加を踏まえ、『仕事×介護両立ハンドブック(基礎知識編)』を作成、管理職を対象としたセミナーを開催	3 健全な生活と福祉 8 公正な労働と経済的繁栄	P.41-42
	従業員の健康推進	●将来を見据えた疾病予防対策として、30歳までの若年層(新入社員、27歳、30歳)を対象に健康啓発セミナーを実施 ●受動喫煙防止の観点から、喫煙所の設置場所見直しや禁煙イベントに加え、職場へ出向いて実施する禁煙セミナーを合計27回開催	3 健全な生活と福祉	P.46
公正な事業慣行	公正・公平な取引	●協力会「天栄会」のテーマ研究会で「サプライヤーBCP」の改善を提案	10 削減 12 持続可能な消費	P.48
重点課題以外の取り組み				
組織統治		●全幹部社員を対象に「不正防止のためのマネジメントセミナー」を開催	16 平和と公正な社会	P.52
コミュニティへの参画		●収集活動強化と従業員がボランティア活動に参加するきっかけの場づくり	17 持続可能な都市とコミュニティ	P.54

ステークホルダーとの対話の機会

ステークホルダー	対話の機会・ツール	ステークホルダー	対話の機会・ツール
お客様	お客様訪問による情報交換 お客様相談窓口(電話・Eメール) ユーザーアンケートはがき 展示会(モーターショー/技術展示会)	株主	株主総会 各種説明会 事業報告書・アニュアルレポート
従業員	職場力向上アンケート イントラ社内報 上司面談 相談窓口(人権/キャリア/こころの健康) 定例労働協議会 コンプライアンスライン	環境	CSR 報告書 近隣企業との環境交流会 環境展示会への出展 地域環境保全活動への参加
取引先	仕入先総会/生産動向説明会 天栄会(総会/各分科会) 自主点検調査(品質/環境/CSR) コンプライアンスライン	社会(地域)	定期的な対話会・情報交換会 地域行事への参加・協賛 工場見学・工場招待イベント 地域防災福祉コミュニティへの参画 地域社会への貢献活動